

分析結果報告書〔8〕 1/19

3. 模擬水質試料（揮発性有機化合物）

機関コード	
機関名	
電話番号	
国際的な認証等の取得（複数回答可）	1. ISO 9001～9003 2. ISO/IEC 17025(が1725) 3. MLAP 4. 環境省が実施するダイオキシン類の請負調査の受注資格 5. (上記1～4を取得していないが)品質マネジメントシステム(QMS)を構築している
分析担当者名	
分析担当者の経験年数	() 年
分析担当者の実績 (年間の分析試料数)	()
分析(主)担当者以外の分析結果の確認	1. あり 2. なし

<VOC分析の経験等>

環境水・地下水・土壌等としての分析	1. 分析したことがある 2. 分析したことがない
有害大気汚染物質としての分析	1. 分析したことがある 2. 分析したことがない

<分析結果：詳細項目>

項目	測定回数 注1)	分析の実施 注2)	分析結果 (mg/L) 注3)	
			検出下限値以上	検出下限値未満での検出下限値
1,1-ジクロロエチレン	1回目	1. 実施 2. 実施せず		
	2回目	1. 実施 2. 実施せず		
	3回目	1. 実施 2. 実施せず		
	4回目	1. 実施 2. 実施せず		
	5回目	1. 実施 2. 実施せず		
ジクロロメタン	1回目	1. 実施 2. 実施せず		
	2回目	1. 実施 2. 実施せず		
	3回目	1. 実施 2. 実施せず		
	4回目	1. 実施 2. 実施せず		
	5回目	1. 実施 2. 実施せず		
トランス-1,2-ジクロロエチレン	1回目	1. 実施 2. 実施せず		
	2回目	1. 実施 2. 実施せず		
	3回目	1. 実施 2. 実施せず		
	4回目	1. 実施 2. 実施せず		
	5回目	1. 実施 2. 実施せず		
シス-1,2-ジクロロエチレン	1回目	1. 実施 2. 実施せず		
	2回目	1. 実施 2. 実施せず		
	3回目	1. 実施 2. 実施せず		
	4回目	1. 実施 2. 実施せず		
	5回目	1. 実施 2. 実施せず		
1,2-ジクロロエタン	1回目	1. 実施 2. 実施せず		
	2回目	1. 実施 2. 実施せず		
	3回目	1. 実施 2. 実施せず		
	4回目	1. 実施 2. 実施せず		
	5回目	1. 実施 2. 実施せず		

注1) 分析用試料のはかり取りからGC/MS等の測定までの一連操作を行った回数。

注2) 分析を実施した場合には、「1. 実施」を選択し、「分析結果」（「検出下限値以上」又は「検出下限値未満での検出下限値」のいずれか）を記入する。

注3) 測定回数分の分析結果を記入する。

検出下限値以上は有効数字3桁、検出下限値未満での検出下限値は有効数字1桁で記入する。

分析結果報告書〔8〕 2/19

<分析結果：参照項目>

項目	測定回数 注1)	分析の実施 注2)	分析結果 (mg/L) 注3)	
			検出下限値以上	検出下限値未満での検出下限値
1, 1, 1-トリクロロエタン	1回目	1. 実施 2. 実施せず		
	2回目	1. 実施 2. 実施せず		
	3回目	1. 実施 2. 実施せず		
	4回目	1. 実施 2. 実施せず		
	5回目	1. 実施 2. 実施せず		
ベンゼン	1回目	1. 実施 2. 実施せず		
	2回目	1. 実施 2. 実施せず		
	3回目	1. 実施 2. 実施せず		
	4回目	1. 実施 2. 実施せず		
	5回目	1. 実施 2. 実施せず		
トリクロロエチレン	1回目	1. 実施 2. 実施せず		
	2回目	1. 実施 2. 実施せず		
	3回目	1. 実施 2. 実施せず		
	4回目	1. 実施 2. 実施せず		
	5回目	1. 実施 2. 実施せず		
1, 2-ジクロロプロパン	1回目	1. 実施 2. 実施せず		
	2回目	1. 実施 2. 実施せず		
	3回目	1. 実施 2. 実施せず		
	4回目	1. 実施 2. 実施せず		
	5回目	1. 実施 2. 実施せず		
1, 4-ジメチル	1回目	1. 実施 2. 実施せず		
	2回目	1. 実施 2. 実施せず		
	3回目	1. 実施 2. 実施せず		
	4回目	1. 実施 2. 実施せず		
	5回目	1. 実施 2. 実施せず		
1, 1, 2-トリクロロエタン	1回目	1. 実施 2. 実施せず		
	2回目	1. 実施 2. 実施せず		
	3回目	1. 実施 2. 実施せず		
	4回目	1. 実施 2. 実施せず		
	5回目	1. 実施 2. 実施せず		
テトラクロロエチレン	1回目	1. 実施 2. 実施せず		
	2回目	1. 実施 2. 実施せず		
	3回目	1. 実施 2. 実施せず		
	4回目	1. 実施 2. 実施せず		
	5回目	1. 実施 2. 実施せず		

注1) 分析用試料のはかり取りからGC/MS等の測定までの一連操作を行った回数。

注2) 分析を実施した場合には、「1. 実施」を選択し、「分析結果」(「検出下限値以上」又は「検出下限値未満での検出下限値」のいずれか)を記入する。

注3) 測定回数分の分析結果を記入する。

検出下限値以上は有効数字3桁、検出下限値未満での検出下限値は有効数字1桁で記入する。

<分析方法等>分析方法等については、分析項目によって、同時分析等、同様の方法を用いていたとしても、必ず記入する。

項目	分析期間 (分析を実施していない項目については記入不要です。)		分析方法[選択肢] 0. 分析せず 注)		使用した水[選択肢]		
	開始月日	終了月日	1. PT-GC/MS 3. PT-GC(ECD)) 5. HS-GC(ECD) 7. 固相抽出-GC/MS法	2. HS-GC/MS 4. PT-GC(FID)) 6. 溶媒抽出-GC(ECD) 8. その他	1. ミネラルウォーター 3. イオン交換水 5. その他 (分析を実施していない項目については記入不要です。)	2. 蒸留水 4. 超純水	5. その他の水を記入
1, 1-ジクロロエチレン							
ジクロロメタン							
トランス-1, 2-ジクロロエチレン							
シス-1, 2-ジクロロエチレン							
1, 2-ジクロロエタン							
1, 1, 1-トリクロロエタン(参照項目)							
ベンゼン(参照項目)							
1, 1, 2-トリクロロエタン(参照項目)							
テトラクロロエチレン(参照項目)							
トリクロロエチレン(参照項目)							
1, 2-ジクロロプロパン(参照項目)							
1, 4-ジメチル(参照項目)							

分析結果報告書〔8〕 3/19

<パージ・トラップ法>

<パージ・トラップ条件：A> 該当する場合のみ記入する。

同一条件で分析した項目 (複数回答可)	1. 報告した全項目 【詳細項目】 2. 1,1-ジクロロエチレン 3. ジクロロメタン 4. トランス-1,2-ジクロロエチレン 5. シス-1,2-ジクロロエチレン 6. 1,2-ジクロロエタン 【参照項目】 7. 1,1,1-トリクロロエタン 8. ベンゼン 9. トリクロロエチレン 10. 1,2-ジクロロプロパン 11. 1,4-ジメチルベンゼン 12. 1,1,2-トリクロロエタン 13. テトラクロロエチレン
パージ管に導入した試料量 (オートサンプラーバイアルピンの容量ではない)	1～n回目まで全て同じ量 () mL (1回でも異なる場合には以下に個別に記入) 1回目 () mL 2回目 () mL 3回目 () mL 4回目 () mL 5回目 () mL
パージ・トラップ装置 メーカー・型式 製造年(又は導入年)	メーカー () 型式 () () 西暦
パージ管 容積	() mL
パージ条件 ガス パージ管ヒーター 流量・時間	1. He 2. N ₂ 3. その他 () 1. オフ(室温) 2. オン(温度:) °C () mL/分 × () 分
トラップ管の充填剤	1. ポリマー(Tenax TA等) + グラファイト 2. ポリマー(Tenax TA等) + カーボンモレキュラーシーブ 3. その他 ()
ドライパージ条件 ガス 流量・時間	1. He 2. N ₂ 3. その他 () () mL/分 × () 分
トラップ管の脱着温度	() °C × () 分
クワイフォースの使用 脱着温度	1. 使用する 2. 使用しない () °C × () 分
P&TサンプルからGCカラム導入時のスプリット設定	1. なし 2. あり(スプリット比 () : () (例 10 : 1等))

<パージ・トラップ条件：B> Aと異なる測定条件の対象項目がある場合のみ、下記に測定条件を記入する。

同一条件で分析した項目 (複数回答可)	1. 報告した全項目 【詳細項目】 2. 1,1-ジクロロエチレン 3. ジクロロメタン 4. トランス-1,2-ジクロロエチレン 5. シス-1,2-ジクロロエチレン 6. 1,2-ジクロロエタン 【参照項目】 7. 1,1,1-トリクロロエタン 8. ベンゼン 9. トリクロロエチレン 10. 1,2-ジクロロプロパン 11. 1,4-ジメチルベンゼン 12. 1,1,2-トリクロロエタン 13. テトラクロロエチレン
パージ管に導入した試料量 (オートサンプラーバイアルピンの容量ではない)	1～n回目まで全て同じ量 () mL (1回でも異なる場合には以下に個別に記入) 1回目 () mL 2回目 () mL 3回目 () mL 4回目 () mL 5回目 () mL
パージ・トラップ装置 メーカー・型式 製造年(又は導入年)	メーカー () 型式 () () 西暦
パージ管 容積	() mL
パージ条件 ガス パージ管ヒーター 流量・時間	1. He 2. N ₂ 3. その他 () 1. オフ(室温) 2. オン(温度:) °C () mL/分 × () 分
トラップ管の充填剤	1. ポリマー(Tenax TA等) + グラファイト 2. ポリマー(Tenax TA等) + カーボンモレキュラーシーブ 3. その他 ()
ドライパージ条件 ガス 流量・時間	1. He 2. N ₂ 3. その他 () () mL/分 × () 分
トラップ管の脱着温度	() °C × () 分
クワイフォースの使用 脱着温度	1. 使用する 2. 使用しない () °C × () 分
P&TサンプルからGCカラム導入時のスプリット設定	1. なし 2. あり(スプリット比 () : () (例 10 : 1等))

分析結果報告書〔8〕 4 / 19

<パージ・トラップ条件：C> A、Bと異なる測定条件の対象項目がある場合のみ、下記に測定条件を記入する。

同時に分析した項目 (複数回答可)	1. 報告した全項目 【詳細項目】 2. 1,1-ジクロロエチレン 3. ジクロロメタン 4. トランス-1,2-ジクロロエチレン 5. シス-1,2-ジクロロエチレン 6. 1,2-ジクロロエタン 【参照項目】 7. 1,1,1-トリクロロエタン 8. ベンゼン 9. トリクロロエチレン 10. 1,2-ジクロロプロパン 11. 1,4-ジメチルベンゼン 12. 1,1,2-トリクロロエタン 13. テトラクロロエチレン
パージ管に導入した試料量 (オートサンプラーバイアルの容量ではない)	1～n回目まで全て同じ量 () mL (1回でも異なる場合には以下に個別に記入) 1回目 () mL 2回目 () mL 3回目 () mL 4回目 () mL 5回目 () mL
パージ・トラップ 装置 メーカー・型式 製造年(又は導入年)	メーカー () 型式 () () 西暦
パージ管 容積	() mL
パージ条件 ガス パージ管ヒーター 流量・時間	1. He 2. N ₂ 3. その他 () 1. オフ(室温) 2. オン(温度:) °C () mL/分 × () 分
トラップ管の充填剤	1. ポリマー(Tenax TA等) + グラファイト 2. ポリマー(Tenax TA等) + カーボンモレキュラーシーブ 3. その他 ()
ドライパージ条件 ガス 流量・時間	1. He 2. N ₂ 3. その他 () () mL/分 × () 分
トラップ管の脱着温度	() °C × () 分
クワイフォーカスの使用 脱着温度	1. 使用する 2. 使用しない () °C × () 分
P&TサンプルからGCカラム導入時のスプリット設定	1. なし 2. あり(スプリット比 () : () (例 10 : 1等))

<パージ・トラップ条件：D> A、B、Cと異なる測定条件の対象項目がある場合のみ、下記に測定条件を記入する。

同一条件で分析した項目 (複数回答可)	1. 報告した全項目 【詳細項目】 2. 1,1-ジクロロエチレン 3. ジクロロメタン 4. トランス-1,2-ジクロロエチレン 5. シス-1,2-ジクロロエチレン 6. 1,2-ジクロロエタン 【参照項目】 7. 1,1,1-トリクロロエタン 8. ベンゼン 9. トリクロロエチレン 10. 1,2-ジクロロプロパン 11. 1,4-ジメチルベンゼン 12. 1,1,2-トリクロロエタン 13. テトラクロロエチレン
パージ管に導入した試料量 (オートサンプラーバイアルの容量ではない)	1～n回目まで全て同じ量 () mL (1回でも異なる場合には以下に個別に記入) 1回目 () mL 2回目 () mL 3回目 () mL 4回目 () mL 5回目 () mL
パージ・トラップ 装置 メーカー・型式 製造年(又は導入年)	メーカー () 型式 () () 西暦
パージ管 容積	() mL
パージ条件 ガス パージ管ヒーター 流量・時間	1. He 2. N ₂ 3. その他 () 1. オフ(室温) 2. オン(温度:) °C () mL/分 × () 分
トラップ管の充填剤	1. ポリマー(Tenax TA等) + グラファイト 2. ポリマー(Tenax TA等) + カーボンモレキュラーシーブ 3. その他 ()
ドライパージ条件 ガス 流量・時間	1. He 2. N ₂ 3. その他 () () mL/分 × () 分
トラップ管の脱着温度	() °C × () 分
クワイフォーカスの使用 脱着温度	1. 使用する 2. 使用しない () °C × () 分
P&TサンプルからGCカラム導入時のスプリット設定	1. なし 2. あり(スプリット比 () : () (例 10 : 1等))

分析結果報告書〔8〕 5/19

<パージ・トラップ条件：E> A、B、C、Dと異なる測定条件の対象項目がある場合のみ、下記に測定条件を記入する。

同時に分析した項目 (複数回答可)	1. 報告した全項目 【詳細項目】 2. 1,1-ジクロロエチレン 3. ジクロロメタン 4. トランス-1,2-ジクロロエチレン 5. シス-1,2-ジクロロエチレン 6. 1,2-ジクロロエタン 【参照項目】 7. 1,1,1-トリクロロエタン 8. ベンゼン 9. トリクロロエチレン 10. 1,2-ジクロロプロパン 11. 1,4-ジメチルベンゼン 12. 1,1,2-トリクロロエタン 13. テトラクロロエチレン
パージ管に導入した試料量 (オートサンプラーバイアルの容量ではない)	1～n回目まで全て同じ量 () mL (1回でも異なる場合には以下に個別に記入) 1回目 () mL 2回目 () mL 3回目 () mL 4回目 () mL 5回目 () mL
パージ・トラップ 装置 メーカー・型式 製造年(又は導入年)	メーカー () 型式 () () 西暦
パージ管 容積	() mL
パージ条件 ガス パージ管ヒーター 流量・時間	1. He 2. N ₂ 3. その他 () 1. オフ(室温) 2. オン(温度:) °C () mL/分 × () 分
トラップ管の充填剤	1. ポリマー(Tenax TA等) + グラファイト 2. ポリマー(Tenax TA等) + カーボンモレキュラーシーブ 3. その他 ()
ドライパージ条件 ガス 流量・時間	1. He 2. N ₂ 3. その他 () () mL/分 × () 分
トラップ管の脱着温度	() °C × () 分
クワイフォーカスの使用 脱着温度	1. 使用する 2. 使用しない () °C × () 分
P&TサンプルからGCカラム導入時のスプリット設定	1. なし 2. あり (スプリット比 () : () (例 10 : 1等))

<パージ・トラップ条件：F> A、B、C、D、Eと異なる測定条件の対象項目がある場合のみ、下記に測定条件を記入する。

同一条件で分析した項目 (複数回答可)	1. 報告した全項目 【詳細項目】 2. 1,1-ジクロロエチレン 3. ジクロロメタン 4. トランス-1,2-ジクロロエチレン 5. シス-1,2-ジクロロエチレン 6. 1,2-ジクロロエタン 【参照項目】 7. 1,1,1-トリクロロエタン 8. ベンゼン 9. トリクロロエチレン 10. 1,2-ジクロロプロパン 11. 1,4-ジメチルベンゼン 12. 1,1,2-トリクロロエタン 13. テトラクロロエチレン
パージ管に導入した試料量 (オートサンプラーバイアルの容量ではない)	1～n回目まで全て同じ量 () mL (1回でも異なる場合には以下に個別に記入) 1回目 () mL 2回目 () mL 3回目 () mL 4回目 () mL 5回目 () mL
パージ・トラップ 装置 メーカー・型式 製造年(又は導入年)	メーカー () 型式 () () 西暦
パージ管 容積	() mL
パージ条件 ガス パージ管ヒーター 流量・時間	1. He 2. N ₂ 3. その他 () 1. オフ(室温) 2. オン(温度:) °C () mL/分 × () 分
トラップ管の充填剤	1. ポリマー(Tenax TA等) + グラファイト 2. ポリマー(Tenax TA等) + カーボンモレキュラーシーブ 3. その他 ()
ドライパージ条件 ガス 流量・時間	1. He 2. N ₂ 3. その他 () () mL/分 × () 分
トラップ管の脱着温度	() °C × () 分
クワイフォーカスの使用 脱着温度	1. 使用する 2. 使用しない () °C × () 分
P&TサンプルからGCカラム導入時のスプリット設定	1. なし 2. あり (スプリット比 () : () (例 10 : 1等))

分析結果報告書〔8〕 6/19

＜ヘッドスペース法＞

＜ヘッドスペース条件：A＞ 該当する場合のみ記入する。

同一条件で分析した項目 (複数回答可)	1. 報告した全項目 【詳細項目】 2. 1,1-ジクロロエチレン 3. ジクロロメタン 4. トランス-1,2-ジクロロエチレン 5. シス-1,2-ジクロロエチレン 6. 1,2-ジクロロエタン 【参照項目】 7. 1,1,1-トリクロロエタン 8. ベンゼン 9. トリクロロエチレン 10. 1,2-ジクロロプロパン 11. 1,4-ジブチン 12. 1,1,2-トリクロロエタン 13. テトラクロロエチレン
試料量	1～n回目まで全て同じ量 () mL (1回でも異なる場合には以下に個別に記入) 1回目 () mL 2回目 () mL 3回目 () mL 4回目 () mL 5回目 () mL
希釈操作	1. 実施しない 2. 実施する (希釈率:) 倍
バイアル容積	() mL
塩析有り 塩化ナトリウムの添加量	1. 有り (添加量: g/バイアル) 2. なし () 単位: 1. g/バイアル 2. mL/バイアル 3. その他 ()
その他添加試薬 種類 添加量	1. アスコルビン酸 2. その他 () () 単位: 1. g/バイアル 2. mL/バイアル 3. その他 ()
ヘッドスペース 装置 メーカー・型式 製造年(又は導入年)	メーカー () 型式 () () 西暦
平衡化条件 温度・時間	温度 () °C 時間 () 分
GCへの導入方式	1. ループ方式 (ループ体積:) mL スプリット設定: 1. なし 2. あり (スプリット比 (): ()) (例 5:1) 2. 圧力バランス方式 (注入時間:) 分 スプリット設定: 1. なし 2. あり (スプリット比 (): ()) 3. トラップ方式 トラップ管の種類 () ループ体積: () mL × トラップ回数: () 回 注入時間: () 分 × トラップ回数: () 回 スプリット設定: 1. なし 2. あり (スプリット比 (): ()) 4. その他 ()
1回のパージ流量・時間	() mL/分 × () 分

＜ヘッドスペース条件：B＞ Aと異なる測定条件の対象項目がある場合のみ、下記に測定条件を記入する。

同一条件で分析した項目 (複数回答可)	1. 報告した全項目 【詳細項目】 2. 1,1-ジクロロエチレン 3. ジクロロメタン 4. トランス-1,2-ジクロロエチレン 5. シス-1,2-ジクロロエチレン 6. 1,2-ジクロロエタン 【参照項目】 7. 1,1,1-トリクロロエタン 8. ベンゼン 9. トリクロロエチレン 10. 1,2-ジクロロプロパン 11. 1,4-ジブチン 12. 1,1,2-トリクロロエタン 13. テトラクロロエチレン
試料量	1～n回目まで全て同じ量 () mL (1回でも異なる場合には以下に個別に記入) 1回目 () mL 2回目 () mL 3回目 () mL 4回目 () mL 5回目 () mL
希釈操作	1. 実施しない 2. 実施する (希釈率:) 倍
バイアル容積	() mL
塩析有り 塩化ナトリウムの添加量	1. 有り (添加量: g/バイアル) 2. なし () 単位: 1. g/バイアル 2. mL/バイアル 3. その他 ()
その他添加試薬 種類 添加量	1. アスコルビン酸 2. その他 () () 単位: 1. g/バイアル 2. mL/バイアル 3. その他 ()
ヘッドスペース 装置 メーカー・型式 製造年(又は導入年)	メーカー () 型式 () () 西暦
平衡化条件 温度・時間	温度 () °C 時間 () 分
GCへの導入方式	1. ループ方式 (ループ体積:) mL スプリット設定: 1. なし 2. あり (スプリット比 (): ()) (例 10:1等) 2. 圧力バランス方式 (注入時間:) 分 スプリット設定: 1. なし 2. あり (スプリット比 (): ()) 3. トラップ方式 トラップ管の種類 () ループ体積: () mL × トラップ回数: () 回 注入時間: () 分 × トラップ回数: () 回 スプリット設定: 1. なし 2. あり (スプリット比 (): ()) 4. その他 ()
1回のパージ流量・時間	() mL/分 × () 分

分析結果報告書〔8〕 7/19

<ヘッドスペース条件：C> A、Bと異なる測定条件の対象項目がある場合のみ、下記に測定条件を記入する。

同一条件で分析した項目 (複数回答可)	1. 報告した全項目 【詳細項目】 2. 1,1-ジクロロエチレン 3. ジクロロメタン 4. トランス-1,2-ジクロロエチレン 5. シス-1,2-ジクロロエチレン 6. 1,2-ジクロロエタン 【参照項目】 7. 1,1,1-トリクロロエタン 8. ベンゼン 9. トリクロロエチレン 10. 1,2-ジクロロプロパン 11. 1,4-ジオキサン 12. 1,1,2-トリクロロエタン 13. テトラクロロエチレン
試料量	1～n回目まで全て同じ量 () mL (1回でも異なる場合には以下に個別に記入) 1回目 () mL 2回目 () mL 3回目 () mL 4回目 () mL 5回目 () mL
希釈操作	1. 実施しない 2. 実施する (希釈率:) 倍
バイアル容積	() mL
塩析有り 塩化ナトリウムの添加量	1. 有り (添加量: g/バイアル) 2. なし () 単位: 1. g/バイアル 2. mL/バイアル 3. その他 ()
その他添加試薬 種類 添加量	1. アスコルビン酸 2. その他 () () 単位: 1. g/バイアル 2. mL/バイアル 3. その他 ()
ヘッドスペース 装置 メーカー・型式 製造年(又は導入年)	メーカー () 型式 () () 西暦
平衡化条件 温度・時間	温度 () °C 時間 () 分
GCへの導入方式	1. ループ方式 (ループ体積:) mL スプリット設定: 1. なし 2. あり (スプリット比 (): ()) (例 10:1等) 2. 圧力バランス方式 (注入時間:) 分 スプリット設定: 1. なし 2. あり (スプリット比 (): ()) 3. トラップ方式 トラップ管の種類 () ループ体積: () mL × トラップ回数: () 回 注入時間: () 分 × トラップ回数: () 回 スプリット設定: 1. なし 2. あり (スプリット比 (): ()) 4. その他 ()
1回のパージ流量・時間	() mL/分 × () 分

<ヘッドスペース条件：D> A、B、Cと異なる測定条件の対象項目がある場合のみ、下記に測定条件を記入する。

同一条件で分析した項目 (複数回答可)	1. 報告した全項目 【詳細項目】 2. 1,1-ジクロロエチレン 3. ジクロロメタン 4. トランス-1,2-ジクロロエチレン 5. シス-1,2-ジクロロエチレン 6. 1,2-ジクロロエタン 【参照項目】 7. 1,1,1-トリクロロエタン 8. ベンゼン 9. トリクロロエチレン 10. 1,2-ジクロロプロパン 11. 1,4-ジオキサン 12. 1,1,2-トリクロロエタン 13. テトラクロロエチレン
試料量	1～n回目まで全て同じ量 () mL (1回でも異なる場合には以下に個別に記入) 1回目 () mL 2回目 () mL 3回目 () mL 4回目 () mL 5回目 () mL
希釈操作	1. 実施しない 2. 実施する (希釈率:) 倍
バイアル容積	() mL
塩析有り 塩化ナトリウムの添加量	1. 有り (添加量: g/バイアル) 2. なし () 単位: 1. g/バイアル 2. mL/バイアル 3. その他 ()
その他添加試薬 種類 添加量	1. アスコルビン酸 2. その他 () () 単位: 1. g/バイアル 2. mL/バイアル 3. その他 ()
ヘッドスペース 装置 メーカー・型式 製造年(又は導入年)	メーカー () 型式 () () 西暦
平衡化条件 温度・時間	温度 () °C 時間 () 分
GCへの導入方式	1. ループ方式 (ループ体積:) mL スプリット設定: 1. なし 2. あり (スプリット比 (): ()) (例 10:1等) 2. 圧力バランス方式 (注入時間:) 分 スプリット設定: 1. なし 2. あり (スプリット比 (): ()) 3. トラップ方式 トラップ管の種類 () ループ体積: () mL × トラップ回数: () 回 注入時間: () 分 × トラップ回数: () 回 スプリット設定: 1. なし 2. あり (スプリット比 (): ()) 4. その他 ()
1回のパージ流量・時間	() mL/分 × () 分

分析結果報告書〔8〕 8/19

<ヘッドスペース条件：E> A、B、C、Dと異なる測定条件の対象項目がある場合のみ、下記に測定条件を記入する。

同一条件で分析した項目 (複数回答可)	1. 報告した全項目 【詳細項目】 2. 1,1-ジクロロエチレン 3. ジクロロメタン 4. トランス-1,2-ジクロロエチレン 5. シス-1,2-ジクロロエチレン 6. 1,2-ジクロロエタン 【参照項目】 7. 1,1,1-トリクロロエタン 8. ベンゼン 9. トリクロロエチレン 10. 1,2-ジクロロプロパン 11. 1,4-ジブチン 12. 1,1,2-トリクロロエタン 13. テトラクロロエチレン
試料量	1～n回目まで全て同じ量 () mL (1回でも異なる場合には以下に個別に記入) 1回目 () mL 2回目 () mL 3回目 () mL 4回目 () mL 5回目 () mL
希釈操作	1. 実施しない 2. 実施する (希釈率:) 倍
バイアル容積	() mL
塩析有り 塩化ナトリウムの添加量	1. 有り (添加量: g/バイアル) 2. なし () 単位: 1. g/バイアル 2. mL/バイアル 3. その他 ()
その他添加試薬 種類 添加量	1. アスコルビン酸 2. その他 () () 単位: 1. g/バイアル 2. mL/バイアル 3. その他 ()
ヘッドスペース 装置 メーカー・型式 製造年(又は導入年)	メーカー () 型式 () () 西暦
平衡化条件 温度・時間	温度 () °C 時間 () 分
GCへの導入方式	1. ループ方式 (ループ体積:) mL スプリット設定: 1. なし 2. あり (スプリット比 (): ()) (例 10:1等) 2. 圧力バランス方式 (注入時間:) 分 スプリット設定: 1. なし 2. あり (スプリット比 (): ()) 3. トラップ方式 トラップ管の種類 () ループ体積: () mL × トラップ回数: () 回 注入時間: () 分 × トラップ回数: () 回 スプリット設定: 1. なし 2. あり (スプリット比 (): ()) 4. その他 ()
1回のページ流量・時間	() mL/分 × () 分

<ヘッドスペース条件：F> A、B、C、D、Eと異なる測定条件の対象項目がある場合のみ、下記に測定条件を記入する。

同一条件で分析した項目 (複数回答可)	1. 報告した全項目 【詳細項目】 2. 1,1-ジクロロエチレン 3. ジクロロメタン 4. トランス-1,2-ジクロロエチレン 5. シス-1,2-ジクロロエチレン 6. 1,2-ジクロロエタン 【参照項目】 7. 1,1,1-トリクロロエタン 8. ベンゼン 9. トリクロロエチレン 10. 1,2-ジクロロプロパン 11. 1,4-ジブチン 12. 1,1,2-トリクロロエタン 13. テトラクロロエチレン
試料量	1～n回目まで全て同じ量 () mL (1回でも異なる場合には以下に個別に記入) 1回目 () mL 2回目 () mL 3回目 () mL 4回目 () mL 5回目 () mL
希釈操作	1. 実施しない 2. 実施する (希釈率:) 倍
バイアル容積	() mL
塩析有り 塩化ナトリウムの添加量	1. 有り (添加量: g/バイアル) 2. なし () 単位: 1. g/バイアル 2. mL/バイアル 3. その他 ()
その他添加試薬 種類 添加量	1. アスコルビン酸 2. その他 () () 単位: 1. g/バイアル 2. mL/バイアル 3. その他 ()
ヘッドスペース 装置 メーカー・型式 製造年(又は導入年)	メーカー () 型式 () () 西暦
平衡化条件 温度・時間	温度 () °C 時間 () 分
GCへの導入方式	1. ループ方式 (ループ体積:) mL スプリット設定: 1. なし 2. あり (スプリット比 (): ()) (例 10:1等) 2. 圧力バランス方式 (注入時間:) 分 スプリット設定: 1. なし 2. あり (スプリット比 (): ()) 3. トラップ方式 トラップ管の種類 () ループ体積: () mL × トラップ回数: () 回 注入時間: () 分 × トラップ回数: () 回 スプリット設定: 1. なし 2. あり (スプリット比 (): ()) 4. その他 ()
1回のページ流量・時間	() mL/分 × () 分

分析結果報告書〔8〕 9/19

<溶媒抽出法> 該当する場合のみ記入する。

同一条件で分析した項目 (複数回答可)	1. 報告した全項目 【詳細項目】 2. 1,1-ジクロロエチレン 3. ジクロロエチレン 4. トリクロロエチレン 5. 1,1,2-ジクロロエチレン 6. 1,2-ジクロロエチレン 【参照項目】 7. 1,1,1-トリクロロエタン 8. アセトン 9. トリクロロエチレン 10. 1,2-ジクロロプロパン 11. 1,4-ジブチレン 12. 1,1,2-トリクロロエタン 13. テトラクロロエチレン
試料量	1～n回目まで全て同じ量 () mL (1回でも異なる場合には以下に個別に記入) 1回目 () mL 2回目 () mL 3回目 () mL 4回目 () mL 5回目 () mL
溶媒 種類 量 振とう時間 溶媒の希釈 注1) GCへの注入量 その他の方法	1. ヘキサン 2. その他 () () mL () 秒 () () μL ()

注1) 溶媒の希釈倍率を記入する。希釈しない場合には、希釈倍率を「1」とする。

<固相抽出法：1,4-ジブチレン> 該当する場合のみ記入する。但し、参照項目であるため、記入は必須ではありません。

試料量	1～n回目まで全て同じ量 () mL (1回でも異なる場合には以下に個別に記入) 1回目 () mL 2回目 () mL 3回目 () mL 4回目 () mL 5回目 () mL
サロゲート物質 使用の有無 種類 添加量 溶媒	1. 使用する 2. 使用しない 1. 1,4-ジブチレン-d ₈ 2. その他 () 濃度 () μg/mL × () μL (試料への添加量) 1. メタノール 2. アセトン 3. その他 ()
固相 種類 活性炭カラムの連結個数 カラムの活性炭充填量 通水速度 脱水	1. 活性炭カートリッジカラム 2. ODSカートリッジカラム+活性炭カートリッジカラム 3. その他 () () 個 () g/カラム () mL/分 1. 窒素気流 2. その他 ()
溶出 溶媒種類 量 流速	1. アセトン 2. その他 () () mL () mL/分
最終試験液の定容量 GCへの注入量	() mL () μL

<固相抽出法のサロゲート回収率> 注1) 該当する場合のみ記入する。但し、参照項目であるため、記入は必須ではありません。

サロゲート物質 注2)	試料 注1)					空試験 注1)		
	1回目	2回目	3回目	4回目	5回目	1回目	2回目	3回目
1. 1,4-ジブチレン-d ₈								
2. その他 ()								

注1) サロゲート物質の回収率 (%) を有効数字2桁で記入する。

注2) 括弧内には、サロゲート物質名を記入する。

分析結果報告書〔8〕 10/19

<GC/FID、GC/ECD、GC/MS 法：共通>

<GC/FID、GC/ECD、GC/MS 条件：A>注1)

同一条件で分析した項目を選択し、下記に測定条件を記入する。

同一条件で分析した項目 (複数回答可)	1. 報告した全項目 【詳細項目】 2. 1,1-ジクロロエチレン 3. ジクロロメタン 4. トランス-1,2-ジクロロエチレン 5. シス-1,2-ジクロロエチレン 6. 1,2-ジクロロエタン 【参照項目】 7. 1,1,1-トリクロロエタン 8. ヘンゼン 9. トリクロロエチレン 10. 1,2-ジクロロプロパン 11. 1,4-ジブチン 12. 1,1,2-トリクロロエタン 13. テトラクロロエチレン
GC/FID・GC/ECD* メーカー 型式 注2) 製造年(又は導入年)	1. アジレント 2. 島津 3. 日本電子 4. 日立ハイテック 5. パーキンエルマ 6. サモフィッシャー 7. その他() () 西暦()
GC/FID・GC/ECD 検出器* 検出器温度	1. 水素炎イオン化検出器(FID) 2. 電子捕獲検出器(ECD) 3. その他() ()℃
GC/MS** メーカー 型式 注2) 製造年(又は導入年)	1. アジレント 2. 島津 3. 日本電子 4. 日立ハイテック 5. パーキンエルマ 6. サモフィッシャー 7. その他() () 西暦()
MS ** 装置型式 イオン検出法 イオン化方法 電圧エネルギー フィラメント電流 イオン源温度 インターフェイス(トランスファライン)温度	1. 単収束 2. 二重収束 3. 四重極 4. イオントラップ 5. タンデム(MS/MS) 6. その他() 1. SIM法 2. マスクロマトグラム法 3. その他() 1. EI 2. その他() () eV () μA ()℃ ()℃
カラム メーカー 型式 内径 長さ 膜厚	1. アジレント 2. 島津 3. GLサイエンス 4. 化学物質評価研究機構 5. シグマ・アルドリッチ 6. SGE 7. レステック 8. その他() () () mm () m () μm
昇温条件 初期 1回目の昇温 2回目の昇温 3回目の昇温 4回目の昇温 (5回以上の昇温の場合) 昇温回数	温度()℃、温度保持()分 速度()℃/分 到達温度()℃ 温度保持()分 速度()℃/分 到達温度()℃ 温度保持()分 速度()℃/分 到達温度()℃ 温度保持()分 速度()℃/分 到達温度()℃ 温度保持()分 最終温度()℃、温度保持()分 回数()回
注入条件 注入口温度 注入方式	()℃ 1. ダイレクト 2. スプリット(スプリット比():())(例 10:1等) 3. スプリットレス 4. コールドオンカラム 5. パルススプリット(スプリット比():()) 6. パルススプリットレス 7. その他()
制御モード	1. 流量(線速度)一定 2. 圧力一定 3. その他()
キャリアガス条件 種類 流量 注3) 圧力 注3)	1. He 2. N ₂ 3. その他() () 単位: 1. mL/分 2. cm/秒 () 単位: 1. psi 2. kPa 3. その他()
メイクアップガス条件 * 種類 流量 注3) 圧力 注3)	1. He 2. N ₂ 3. その他() () 単位: 1. mL/分 2. cm/秒 () 単位: 1. psi 2. kPa 3. その他()

注1) GC/FID、GC/ECD、GC/MSにより該当する個所に記入する。

おおまかな区分としては、*はGC/FID又はGC/ECD、**はGC/MSに該当し、その他は両方に該当する。

注2) メーカーを選び、型式欄には商品名(型番)を記入する。その他のメーカーについては括弧内に記入する。

注3) 使用したカラムカラム初期温度での流量又は圧力を記入する。

分析結果報告書〔8〕 11/19

<GC/FID、GC/ECD、GC/MS 条件：B>注1)

Aと異なる測定条件の対象項目がある場合のみ、下記に測定条件を記入する。

同一条件で分析した項目 (複数回答可)	1. 報告した全項目 【詳細項目】 2. 1,1-ジクロロエチレン 3. ジクロロメタン 4. トランス-1,2-ジクロロエチレン 5. シス-1,2-ジクロロエチレン 6. 1,2-ジクロロエタン 【参照項目】 7. 1,1,1-トリクロロエタン 8. ベンゼン 9. トリクロロエチレン 10. 1,2-ジクロロプロパン 11. 1,4-ジブチン 12. 1,1,2-トリクロロエタン 13. テトラクロロエチレン
GC/FID・GC/ECD* メーカー 型式 注2) 製造年 (又は導入年)	1. アジレント 2. 島津 3. 日本電子 4. 日立ハイテック 5. パーキンエルマ 6. サモフィッシャー 7. その他 () () 西暦 ()
GC/FID・GC/ECD 検出器* 検出器温度	1. 水素炎イオン化検出器(FID) 2. 電子捕獲検出器(ECD) 3. その他 () () °C
GC/MS** メーカー 型式 注2) 製造年 (又は導入年)	1. アジレント 2. 島津 3. 日本電子 4. 日立ハイテック 5. パーキンエルマ 6. サモフィッシャー 7. その他 () () 西暦 ()
MS ** 装置型式 イオン検出法 イオン化方法 電圧エネルギー フィラメント電流 イオン源温度 インターフェイス(トランスファライン)温度	1. 単収束 2. 二重収束 3. 四重極 4. イオントラップ 5. タンデム(MS/MS) 6. その他 () 1. SIM法 2. マスクロマトグラム法 3. その他 () 1. EI 2. その他 () () eV () μA () °C () °C
カラム メーカー 型式 内径 長さ 膜厚	1. アジレント 2. 島津 3. GLサイエンス 4. 化学物質評価研究機構 5. シグマ・アルドリッチ 6. SGE 7. レステック 8. その他 () () () mm () m () μm
昇温条件 初期 1回目の昇温 2回目の昇温 3回目の昇温 4回目の昇温 (5回以上の昇温の場合) 昇温回数	温度 () °C、温度保持 () 分 速度 () °C/分 到達温度 () °C 温度保持 () 分 速度 () °C/分 到達温度 () °C 温度保持 () 分 速度 () °C/分 到達温度 () °C 温度保持 () 分 速度 () °C/分 到達温度 () °C 温度保持 () 分 最終温度 () °C、温度保持 () 分 回数 () 回
注入条件 注入口温度 注入方式	() °C 1. ダイレクト 2. スプリット (スプリット比 () : ()) (例 10 : 1等) 3. スプリットレス 4. コールドヘッドカラム 5. パルススプリット (スプリット比 () : ()) 6. パルススプリットレス 7. その他 ()
制御モード	1. 流量(線速度)一定 2. 圧力一定 3. その他 ()
キャリアガス条件 種類 流量 注3) 圧力 注3)	1. He 2. N ₂ 3. その他 () () 単位: 1. mL/分 2. cm/秒 () 単位: 1. psi 2. kPa 3. その他 ()
メイクアップガス条件 * 種類 流量 注3) 圧力 注3)	1. He 2. N ₂ 3. その他 () () 単位: 1. mL/分 2. cm/秒 () 単位: 1. psi 2. kPa 3. その他 ()

注1) GC/FID、GC/ECD、GC/MSにより該当する個所に記入する。

おおまかな区分としては、*はGC/FID又はGC/ECD、**はGC/MSに該当し、その他は両方に該当する。

注2) メーカーを選び、型式欄には商品名(型番)を記入する。その他のメーカーについては括弧内に記入する。

注3) 使用したカラムオープン初期温度での流量又は圧力を記入する。

分析結果報告書〔8〕 12/19

<GC/FID、GC/ECD、GC/MS 条件：C>注1)

A、Bと異なる測定条件の対象項目がある場合のみ、下記に測定条件を記入する。

同一条件で分析した項目 (複数回答可)		1. 報告した全項目 【詳細項目】 2. 1,1-ジクロロエチレン 3. ジクロロメタン 4. トランス-1,2-ジクロロエチレン 5. シス-1,2-ジクロロエチレン 6. 1,2-ジクロロエタン 【参照項目】 7. 1,1,1-トリクロロエタン 8. ベンゼン 9. トリクロロエチレン 10. 1,2-ジクロロプロパン 11. 1,4-ジブチン 12. 1,1,2-トリクロロエタン 13. テトラクロロエチレン
GC/FID・GC/ECD*	メーカー 型式 注2) 製造年(又は導入年)	1. アジレント 2. 島津 3. 日本電子 4. 日立ハイテック 5. パーキンエルマ 6. サモフィッシャー 7. その他() () 西暦()
GC/FID・GC/ECD 検出器*	検出器温度	1. 水素炎イオン化検出器(FID) 2. 電子捕獲検出器(ECD) 3. その他() ()℃
GC/MS**	メーカー 型式 注2) 製造年(又は導入年)	1. アジレント 2. 島津 3. 日本電子 4. 日立ハイテック 5. パーキンエルマ 6. サモフィッシャー 7. その他() () 西暦()
MS**	装置型式 イオン検出法 イオン化方法 電圧エネルギー フィラメント電流 イオン源温度 インターフェイス(トランスファライン)温度	1. 単収束 2. 二重収束 3. 四重極 4. イオントラップ 5. タンデム(MS/MS) 6. その他() 1. SIM法 2. マスクロマトグラム法 3. その他() 1. EI 2. その他() () eV () μA ()℃ ()℃
カラム	メーカー 型式 内径 長さ 膜厚	1. アジレント 2. 島津 3. GLサイエンス 4. 化学物質評価研究機構 5. シグマ・アルドリッチ 6. SGE 7. レステック 8. その他() () () mm () m () μm
昇温条件	初期 1回目の昇温 2回目の昇温 3回目の昇温 4回目の昇温 (5回以上の昇温の場合) 昇温回数	温度()℃、温度保持()分 速度()℃/分 到達温度()℃ 温度保持()分 速度()℃/分 到達温度()℃ 温度保持()分 速度()℃/分 到達温度()℃ 温度保持()分 速度()℃/分 到達温度()℃ 温度保持()分 最終温度()℃、温度保持()分 回数()回
注入条件	注入口温度 注入方式	()℃ 1. ダイレクト 2. スプリット(スプリット比():())(例 10:1等) 3. スプリットレス 4. コールドオンカラム 5. パルススプリット(スプリット比():()) 6. パルススプリットレス 7. その他()
制御モード		1. 流量(線速度)一定 2. 圧力一定 3. その他()
キャリアガス条件	種類 流量 注3) 圧力 注3)	1. He 2. N ₂ 3. その他() () 単位: 1. mL/分 2. cm/秒 () 単位: 1. psi 2. kPa 3. その他()
メイクアップガス条件*	種類 流量 注3) 圧力 注3)	1. He 2. N ₂ 3. その他() () 単位: 1. mL/分 2. cm/秒 () 単位: 1. psi 2. kPa 3. その他()

注1) GC/FID、GC/ECD、GC/MSにより該当する個所に記入する。

おおまかな区分としては、*はGC/FID又はGC/ECD、**はGC/MSに該当し、その他は両方に該当する。

注2) メーカーを選び、型式欄には商品名(型番)を記入する。その他のメーカーについては括弧内に記入する。

注3) 使用したカラムオーブン初期温度での流量又は圧力を記入する。

分析結果報告書〔8〕 13/19

<GC/FID、GC/ECD、GC/MS 条件：D> 注1)

A、B、Cと異なる測定条件の対象項目がある場合のみ、下記に測定条件を記入する。

同一条件で分析した項目 (複数回答可)	1. 報告した全項目 【詳細項目】 2. 1,1-ジクロロエチレン 3. ジクロロメタン 4. トランス-1,2-ジクロロエチレン 5. シス-1,2-ジクロロエチレン 6. 1,2-ジクロロエタン 【参照項目】 7. 1,1,1-トリクロロエタン 8. ベンゼン 9. トリクロロエチレン 10. 1,2-ジクロロプロパン 11. 1,4-ジブチン 12. 1,1,2-トリクロロエタン 13. テトラクロロエチレン
GC/FID・GC/ECD* メーカー 型式 注2) 製造年(又は導入年)	1. アジレント 2. 島津 3. 日本電子 4. 日立ハイテック 5. パーキンエルマ 6. サモフィッシャー 7. その他() () 西暦()
GC/FID・GC/ECD 検出器* 検出器温度	1. 水素炎イオン化検出器(FID) 2. 電子捕獲検出器(ECD) 3. その他() ()℃
GC/MS** メーカー 型式 注2) 製造年(又は導入年)	1. アジレント 2. 島津 3. 日本電子 4. 日立ハイテック 5. パーキンエルマ 6. サモフィッシャー 7. その他() () 西暦()
MS ** 装置型式 イオン検出法 イオン化方法 電圧エネルギー フィラメント電流 イオン源温度 インターフェイス(トランスファーライン)温度	1. 単収束 2. 二重収束 3. 四重極 4. イオントラップ 5. タンデム(MS/MS) 6. その他() 1. SIM法 2. マスクロマトグラム法 3. その他() 1. EI 2. その他() () eV () μA ()℃ ()℃
カラム メーカー 型式 内径 長さ 膜厚	1. アジレント 2. 島津 3. GLサイエンス 4. 化学物質評価研究機構 5. シグマ・アルドリッチ 6. SGE 7. レステック 8. その他() () () mm () m () μm
昇温条件 初期 1回目の昇温 2回目の昇温 3回目の昇温 4回目の昇温 (5回以上の昇温の場合) 昇温回数	温度()℃、温度保持()分 速度()℃/分 到達温度()℃ 温度保持()分 速度()℃/分 到達温度()℃ 温度保持()分 速度()℃/分 到達温度()℃ 温度保持()分 速度()℃/分 到達温度()℃ 温度保持()分 最終温度()℃、温度保持()分 回数()回
注入条件 注入口温度 注入方式	()℃ 1. ダイレクト 2. スプリット(スプリット比():())(例 10:1等) 3. スプリットレス 4. コールドオンカラム 5. パルススプリット(スプリット比():()) 6. パルススプリットレス 7. その他()
制御モード	1. 流量(線速度)一定 2. 圧力一定 3. その他()
キャリアガス条件 種類 流量 注3) 圧力 注3)	1. He 2. N ₂ 3. その他() () 単位: 1. mL/分 2. cm/秒 () 単位: 1. psi 2. kPa 3. その他()
メイクアップガス条件 * 種類 流量 注3) 圧力 注3)	1. He 2. N ₂ 3. その他() () 単位: 1. mL/分 2. cm/秒 () 単位: 1. psi 2. kPa 3. その他()

注1) GC/FID、GC/ECD、GC/MSにより該当する個所に記入する。

おおまかな区分としては、*はGC/FID又はGC/ECD、**はGC/MSに該当し、その他は両方に該当する。

注2) メーカーを選び、型式欄には商品名(型番)を記入する。その他のメーカーについては括弧内に記入する。

注3) 使用したカラムオープン初期温度での流量又は圧力を記入する。

分析結果報告書〔8〕 14/19

<GC/FID、GC/ECD、GC/MS 条件：E>注1)

A、B、C、Dと異なる測定条件の対象項目がある場合のみ、下記に測定条件を記入する。

同一条件で分析した項目 (複数回答可)	1. 報告した全項目 【詳細項目】 2. 1,1-ジクロロエチレン 3. ジクロロメタン 4. トランス-1,2-ジクロロエチレン 5. シス-1,2-ジクロロエチレン 6. 1,2-ジクロロエタン 【参照項目】 7. 1,1,1-トリクロロエタン 8. ベンゼン 9. トリクロロエチレン 10. 1,2-ジクロロプロパン 11. 1,4-ジブチン 12. 1,1,2-トリクロロエタン 13. テトラクロロエチレン
GC/FID・GC/ECD* メーカー 型式 注2) 製造年(又は導入年)	1. アジレント 2. 島津 3. 日本電子 4. 日立ハイテック 5. パーキンエルマ 6. サモフィッシャー 7. その他() () 西暦()
GC/FID・GC/ECD 検出器* 検出器温度	1. 水素炎イオン化検出器(FID) 2. 電子捕獲検出器(ECD) 3. その他() ()℃
GC/MS** メーカー 型式 注2) 製造年(又は導入年)	1. アジレント 2. 島津 3. 日本電子 4. 日立ハイテック 5. パーキンエルマ 6. サモフィッシャー 7. その他() () 西暦()
MS ** 装置型式 イオン検出法 イオン化方法 電圧エネルギー フィラメント電流 イオン源温度 インターフェイス(トランスファーライン)温度	1. 単収束 2. 二重収束 3. 四重極 4. イオントラップ 5. タンデム(MS/MS) 6. その他() 1. SIM法 2. マスクロマトグラム法 3. その他() 1. EI 2. その他() () eV () μA ()℃ ()℃
カラム メーカー 型式 内径 長さ 膜厚	1. アジレント 2. 島津 3. GLサイエンス 4. 化学物質評価研究機構 5. シグマ・アルドリッチ 6. SGE 7. レステック 8. その他() () () mm () m () μm
昇温条件 初期 1回目の昇温 2回目の昇温 3回目の昇温 4回目の昇温 (5回以上の昇温の場合) 昇温回数	温度()℃、温度保持()分 速度()℃/分 到達温度()℃ 温度保持()分 速度()℃/分 到達温度()℃ 温度保持()分 速度()℃/分 到達温度()℃ 温度保持()分 速度()℃/分 到達温度()℃ 温度保持()分 最終温度()℃、温度保持()分 回数()回
注入条件 注入口温度 注入方式	()℃ 1. ダイレクト 2. スプリット(スプリット比():()) (例 10:1等) 3. スプリットレス 4. コールドオンカラム 5. パルススプリット(スプリット比():()) 6. パルススプリットレス 7. その他()
制御モード	1. 流量(線速度)一定 2. 圧力一定 3. その他()
キャリアガス条件 種類 流量 注3) 圧力 注3)	1. He 2. N ₂ 3. その他() () 単位: 1. mL/分 2. cm/秒 () 単位: 1. psi 2. kPa 3. その他()
メイクアップガス条件 * 種類 流量 注3) 圧力 注3)	1. He 2. N ₂ 3. その他() () 単位: 1. mL/分 2. cm/秒 () 単位: 1. psi 2. kPa 3. その他()

注1) GC/FID、GC/ECD、GC/MSにより該当する個所に記入する。

おおまかな区分としては、*はGC/FID又はGC/ECD、**はGC/MSに該当し、その他は両方に該当する。

注2) メーカーを選び、型式欄には商品名(型番)を記入する。その他のメーカーについては括弧内に記入する。

注3) 使用したカラムオープン初期温度での流量又は圧力を記入する。

分析結果報告書〔8〕 15/19

<GC/FID、GC/ECD、GC/MS 条件：F> 注1)

A、B、C、D、Eと異なる測定条件の対象項目がある場合のみ、下記に測定条件を記入する。

同一条件で分析した項目 (複数回答可)	1. 報告した全項目 【詳細項目】 2. 1,1-ジクロロエチレン 3. ジクロロメタン 4. トランス-1,2-ジクロロエチレン 5. シス-1,2-ジクロロエチレン 6. 1,2-ジクロロエタン 【参照項目】 7. 1,1,1-トリクロロエタン 8. ベンゼン 9. トリクロロエチレン 10. 1,2-ジクロロプロパン 11. 1,4-ジオキサン 12. 1,1,2-トリクロロエタン 13. テトラクロロエチレン
GC/FID・GC/ECD* メーカー 型式 注2) 製造年(又は導入年)	1. アジレント 2. 島津 3. 日本電子 4. 日立ハイテック 5. パーキンエルマ 6. サモフィッシャー 7. その他() () 西暦()
GC/FID・GC/ECD 検出器* 検出器温度	1. 水素炎イオン化検出器(FID) 2. 電子捕獲検出器(ECD) 3. その他() ()℃
GC/MS** メーカー 型式 注2) 製造年(又は導入年)	1. アジレント 2. 島津 3. 日本電子 4. 日立ハイテック 5. パーキンエルマ 6. サモフィッシャー 7. その他() () 西暦()
MS ** 装置型式 イオン検出法 イオン化方法 電圧エネルギー フィラメント電流 イオン源温度 インターフェイス(トランスファーライン)温度	1. 単収束 2. 二重収束 3. 四重極 4. イオントラップ 5. タンデム(MS/MS) 6. その他() 1. SIM法 2. マスクロマトグラム法 3. その他() 1. EI 2. その他() () eV () μA ()℃ ()℃
カラム メーカー 型式 内径 長さ 膜厚	1. アジレント 2. 島津 3. GLサイエンス 4. 化学物質評価研究機構 5. シグマ・アルドリッチ 6. SGE 7. レステック 8. その他() () () mm () m () μm
昇温条件 初期 1回目の昇温 2回目の昇温 3回目の昇温 4回目の昇温 (5回以上の昇温の場合) 昇温回数	温度()℃、温度保持()分 速度()℃/分 到達温度()℃ 温度保持()分 速度()℃/分 到達温度()℃ 温度保持()分 速度()℃/分 到達温度()℃ 温度保持()分 速度()℃/分 到達温度()℃ 温度保持()分 最終温度()℃、温度保持()分 回数()回
注入条件 注入口温度 注入方式	()℃ 1. ダイレクト 2. スプリット(スプリット比():()) (例 10:1等) 3. スプリットレス 4. コールドオンカラム 5. パルススプリット(スプリット比():()) 6. パルススプリットレス 7. その他()
制御モード	1. 流量(線速度)一定 2. 圧力一定 3. その他()
キャリアガス条件 種類 流量 注3) 圧力 注3)	1. He 2. N ₂ 3. その他() () 単位: 1. mL/分 2. cm/秒 () 単位: 1. psi 2. kPa 3. その他()
メイクアップガス条件 * 種類 流量 注3) 圧力 注3)	1. He 2. N ₂ 3. その他() () 単位: 1. mL/分 2. cm/秒 () 単位: 1. psi 2. kPa 3. その他()

注1) GC/FID、GC/ECD、GC/MSにより該当する個所に記入する。

おおまかな区分としては、*はGC/FID又はGC/ECD、**はGC/MSに該当し、その他は両方に該当する。

注2) メーカーを選び、型式欄には商品名(型番)を記入する。その他のメーカーについては括弧内に記入する。

注3) 使用したカラムオープン初期温度での流量又は圧力を記入する。

分析結果報告書〔8〕 16/19

<GC/MS法：定量用質量数及び確認用質量数> 測定対象とした項目についてのみ記入する。

項目	定量用質量(m/z) 注1)	確認用質量(m/z) 注2)
【詳細項目】		
1, 1-ジクロロエチレン	1. 96 2. その他 ()	1. 61 2. その他 ()
ジクロロメタン	1. 84 2. その他 ()	1. 86 2. その他 ()
トランス-1, 2-ジクロロエチレン	1. 96 2. その他 ()	1. 61 2. その他 ()
シス-1, 2-ジクロロエチレン	1. 96 2. その他 ()	1. 61 2. その他 ()
1, 2-ジクロロエタン	1. 62 2. その他 ()	1. 64 2. その他 ()
【参照項目】 参照項目の記入は必須ではありません。		
1, 1, 1-トリクロロエタン	1. 97 2. その他 ()	1. 99 2. その他 ()
ベンゼン	1. 78 2. その他 ()	1. 77 2. その他 ()
トリクロロエチレン	1. 130 2. その他 ()	1. 132 2. その他 ()
1, 2-ジクロロプロパン	1. 63 2. その他 ()	1. 62 2. その他 ()
1, 4-ジメチルベンゼン	1. 88 2. その他 ()	1. 58 2. その他 ()
1, 1, 2-トリクロロエタン	1. 97 2. その他 ()	1. 83 2. その他 ()
テトラクロロエチレン	1. 166 2. その他 ()	1. 164 2. その他 ()
【内標準物質】 注3)		
フルオロベンゼン	1. 96 2. その他 ()	1. 70 2. その他 ()
4-フルオロモルホリン	1. 174 2. その他 ()	1. 176 2. その他 ()
その他の内標準1 ()	()	()
その他の内標準2 ()	()	()
その他の内標準3 ()	()	()

注1) 2. その他の m/z を使用した場合には、() 内に m/z を記入する。

注2) 複数の確認用質量数をモニターした場合には複数回答可。2. その他の m/z を使用した場合には、() 内に m/z を記入する。

注3) その他の内標準物質を使用した場合は、() 内に物質名を記入する。

<標準原液> 測定対象とした項目についてのみ記入する。

項目	購入・自作の区分	混合・個別標準液の区分 注1)	購入メーカー【選択肢】		標準原液の保管方法
			1~8 注2)	その他メーカー名 注3)	
1, 1-ジクロロエチレン	1. 購入 2. 自作	1. 混 2. 単	1. アルドリッチ 2. 関東化学 3. キンダ化学 4. シグマアルドリッチ 5. ジェールサイエンス 6. 林純薬 7. 和光純薬 8. その他		1. 冷蔵 2. 冷凍
ジクロロメタン	1. 購入 2. 自作	1. 混 2. 単			1. 冷蔵 2. 冷凍
トランス-1, 2-ジクロロエチレン	1. 購入 2. 自作	1. 混 2. 単			1. 冷蔵 2. 冷凍
シス-1, 2-ジクロロエチレン	1. 購入 2. 自作	1. 混 2. 単			1. 冷蔵 2. 冷凍
1, 2-ジクロロエタン	1. 購入 2. 自作	1. 混 2. 単			1. 冷蔵 2. 冷凍
【参照項目】 以下の参照項目についての記入は必須ではありません。					
1, 1, 1-トリクロロエタン	1. 購入 2. 自作	1. 混 2. 単			1. 冷蔵 2. 冷凍
ベンゼン	1. 購入 2. 自作	1. 混 2. 単			1. 冷蔵 2. 冷凍
トリクロロエチレン	1. 購入 2. 自作	1. 混 2. 単			1. 冷蔵 2. 冷凍
1, 2-ジクロロプロパン	1. 購入 2. 自作	1. 混 2. 単			1. 冷蔵 2. 冷凍
1, 4-ジメチルベンゼン	1. 購入 2. 自作	1. 混 2. 単			1. 冷蔵 2. 冷凍
1, 1, 2-トリクロロエタン	1. 購入 2. 自作	1. 混 2. 単			1. 冷蔵 2. 冷凍
テトラクロロエチレン	1. 購入 2. 自作	1. 混 2. 単			1. 冷蔵 2. 冷凍

注1) 市販の混合標準溶液を原液使用した場合は、「1」を、個別標準原液を使用した場合は「2」を選択する。

注2) 製造会社名を選択肢より選択する（「販売会社ではない」ことに注意する）。

注3) その他の場合には具体的に製造会社名を記入する。

<検量線用標準液の保存方法>

保存状況	保存方法等	1. 冷蔵所保存 2. 冷凍保存 3. 保存しない（直ちに分析） 4. その他 ()
	保存日数 注1)	約()日
	保存温度	約()℃

注1) 0.5日単位で記入する。

分析結果報告書〔8〕 17/19

<検量線の作成等：A> 同一条件で分析した項目を選択し、下記に検量線の作成方法を記入する。

同一条件で分析した項目 (複数回答可)	1. 報告した全項目 【詳細項目】 2. 1,1-ジクロロエチレン 3. ジクロロメタン 4. トランス-1,2-ジクロロエチレン 5. シス-1,2-ジクロロエチレン 6. 1,2-ジクロロエタン 【参照項目】 7. 1,1,1-トリクロロエタン 8. ベンゼン 9. トリクロロエチレン 10. 1,2-ジクロロプロパン 11. 1,4-ジメチルベンゼン 12. 1,1,2-トリクロロエタン 13. テトラクロロエチレン
定量方法	1. 絶対検量線法 2. 標準添加法 3. 内標準法 4. サロゲート物質を用いた内標準法 5. その他 ()
内標準物質 使用の有無 種類 (複数回答可) 添加量 フルオロベンゼン 4-ブロモフルオロベンゼン その他内標準物質 溶媒 添加方法	1. 使用する 2. 使用しない 1. フルオロベンゼン 2. 4-ブロモフルオロベンゼン 3. その他 () 濃度 () $\mu\text{g/mL} \times () \mu\text{L/バial}$ (試験液への添加量) 濃度 () $\mu\text{g/mL} \times () \mu\text{L/バial}$ (試験液への添加量) 濃度 () $\mu\text{g/mL} \times () \mu\text{L/バial}$ (試験液への添加量) 1. メタノール 2. その他 () 1. マニュアル 2. オートサンプリング

<検量線の作成等：B> Aと異なる作成方法等の対象項目がある場合のみ、下記に測定条件を記入する。

同時に分析した項目 (複数回答可)	1. 報告した全項目 【詳細項目】 2. 1,1-ジクロロエチレン 3. ジクロロメタン 4. トランス-1,2-ジクロロエチレン 5. シス-1,2-ジクロロエチレン 6. 1,2-ジクロロエタン 【参照項目】 7. 1,1,1-トリクロロエタン 8. ベンゼン 9. トリクロロエチレン 10. 1,2-ジクロロプロパン 11. 1,4-ジメチルベンゼン 12. 1,1,2-トリクロロエタン 13. テトラクロロエチレン
定量方法	1. 絶対検量線法 2. 標準添加法 3. 内標準法 4. サロゲート物質を用いた内標準法 5. その他 ()
内標準物質 使用の有無 種類 (複数回答可) 添加量 フルオロベンゼン 4-ブロモフルオロベンゼン その他内標準物質 溶媒 添加方法	1. 使用する 2. 使用しない 1. フルオロベンゼン 2. 4-ブロモフルオロベンゼン 3. その他 () 濃度 () $\mu\text{g/mL} \times () \mu\text{L/バial}$ (試験液への添加量) 濃度 () $\mu\text{g/mL} \times () \mu\text{L/バial}$ (試験液への添加量) 濃度 () $\mu\text{g/mL} \times () \mu\text{L/バial}$ (試験液への添加量) 1. メタノール 2. その他 () 1. マニュアル 2. オートサンプリング

<検量線の作成等：C> A、Bと異なる作成方法等の対象項目がある場合のみ、下記に測定条件を記入する。

同一条件で分析した項目 (複数回答可)	1. 報告した全項目 【詳細項目】 2. 1,1-ジクロロエチレン 3. ジクロロメタン 4. トランス-1,2-ジクロロエチレン 5. シス-1,2-ジクロロエチレン 6. 1,2-ジクロロエタン 【参照項目】 7. 1,1,1-トリクロロエタン 8. ベンゼン 9. トリクロロエチレン 10. 1,2-ジクロロプロパン 11. 1,4-ジメチルベンゼン 12. 1,1,2-トリクロロエタン 13. テトラクロロエチレン
定量方法	1. 絶対検量線法 2. 標準添加法 3. 内標準法 4. サロゲート物質を用いた内標準法 5. その他 ()
内標準物質 使用の有無 種類 (複数回答可) 添加量 フルオロベンゼン 4-ブロモフルオロベンゼン その他内標準物質 溶媒 添加方法	1. 使用する 2. 使用しない 1. フルオロベンゼン 2. 4-ブロモフルオロベンゼン 3. その他 () 濃度 () $\mu\text{g/mL} \times () \mu\text{L/バial}$ (試験液への添加量) 濃度 () $\mu\text{g/mL} \times () \mu\text{L/バial}$ (試験液への添加量) 濃度 () $\mu\text{g/mL} \times () \mu\text{L/バial}$ (試験液への添加量) 1. メタノール 2. その他 () 1. マニュアル 2. オートサンプリング

<検量線の作成等：D> A、B、Cと異なる作成方法等の対象項目がある場合のみ、下記に測定条件を記入する。

同一条件で分析した項目 (複数回答可)	1. 報告した全項目 【詳細項目】 2. 1,1-ジクロロエチレン 3. ジクロロメタン 4. トランス-1,2-ジクロロエチレン 5. シス-1,2-ジクロロエチレン 6. 1,2-ジクロロエタン 【参照項目】 7. 1,1,1-トリクロロエタン 8. ベンゼン 9. トリクロロエチレン 10. 1,2-ジクロロプロパン 11. 1,4-ジメチルベンゼン 12. 1,1,2-トリクロロエタン 13. テトラクロロエチレン
定量方法	1. 絶対検量線法 2. 標準添加法 3. 内標準法 4. サロゲート物質を用いた内標準法 5. その他 ()
内標準物質 使用の有無 種類 (複数回答可) 添加量 フルオロベンゼン 4-ブロモフルオロベンゼン その他内標準物質 溶媒 添加方法	1. 使用する 2. 使用しない 1. フルオロベンゼン 2. 4-ブロモフルオロベンゼン 3. その他 () 濃度 () $\mu\text{g/mL} \times () \mu\text{L/バial}$ (試験液への添加量) 濃度 () $\mu\text{g/mL} \times () \mu\text{L/バial}$ (試験液への添加量) 濃度 () $\mu\text{g/mL} \times () \mu\text{L/バial}$ (試験液への添加量) 1. メタノール 2. その他 () 1. マニュアル 2. オートサンプリング

分析結果報告書〔8〕 18/19

<検量線の作成等：E> A、B、C、Dと異なる作成方法等の対象項目がある場合のみ、下記に測定条件を記入する。

同一条件で分析した項目 (複数回答可)	1. 報告した全項目 【詳細項目】 2. 1,1-ジクロロエチレン 3. ジクロロメタン 4. トランス-1,2-ジクロロエチレン 5. シス-1,2-ジクロロエチレン 6. 1,2-ジクロロエタン 【参照項目】 7. 1,1,1-トリクロロエタン 8. ベンゼン 9. トリクロロエチレン 10. 1,2-ジクロロプロパン 11. 1,4-ジクロロベンゼン 12. 1,1,2-トリクロロエタン 13. テトラクロロエチレン
定量方法	1. 絶対検量線法 2. 標準添加法 3. 内標準法 4. サロゲート物質を用いた内標準法 5. その他 ()
内標準物質 使用の有無 種類 (複数回答可) 添加量 フルオロベンゼン 4-ブromofluorobenzene その他内標準物質 溶媒 添加方法	1. 使用する 2. 使用しない 1. フルオロベンゼン 2. 4-ブromofluorobenzene 3. その他 () 濃度 () $\mu\text{g/mL} \times () \mu\text{L/バial}$ (試験液への添加量) 濃度 () $\mu\text{g/mL} \times () \mu\text{L/バial}$ (試験液への添加量) 濃度 () $\mu\text{g/mL} \times () \mu\text{L/バial}$ (試験液への添加量) 1. メタノール 2. その他 () 1. マニュアル 2. オートサンプラー

<検量線の作成等：F> A、B、C、D、Eと異なる作成方法等の対象項目がある場合のみ、下記に測定条件を記入する。

同時に分析した項目 (複数回答可)	1. 報告した全項目 【詳細項目】 2. 1,1-ジクロロエチレン 3. ジクロロメタン 4. トランス-1,2-ジクロロエチレン 5. シス-1,2-ジクロロエチレン 6. 1,2-ジクロロエタン 【参照項目】 7. 1,1,1-トリクロロエタン 8. ベンゼン 9. トリクロロエチレン 10. 1,2-ジクロロプロパン 11. 1,4-ジクロロベンゼン 12. 1,1,2-トリクロロエタン 13. テトラクロロエチレン
定量方法	1. 絶対検量線法 2. 標準添加法 3. 内標準法 4. サロゲート物質を用いた内標準法 5. その他 ()
内標準物質 使用の有無 種類 (複数回答可) 添加量 フルオロベンゼン 4-ブromofluorobenzene その他内標準物質 溶媒 添加方法	1. 使用する 2. 使用しない 1. フルオロベンゼン 2. 4-ブromofluorobenzene 3. その他 () 濃度 () $\mu\text{g/mL} \times () \mu\text{L/バial}$ (試験液への添加量) 濃度 () $\mu\text{g/mL} \times () \mu\text{L/バial}$ (試験液への添加量) 濃度 () $\mu\text{g/mL} \times () \mu\text{L/バial}$ (試験液への添加量) 1. メタノール 2. その他 () 1. マニュアル 2. オートサンプラー

<検量線の範囲・指示値等> 測定対象とした項目についてのみ記入する。

検量線作成範囲の単位	1. ng 2. mg/L 3. その他 () 注1)							
検量線作成範囲及び指示値	検量線作成範囲 注1)			指示値 注2)				定量用内標準物質の番号 注3)
項目	作成点数	最小	最大	検量線最高濃度		空試験		
				対象物質	内標準	対象物質	内標準	
1,1-ジクロロエチレン								
ジクロロメタン								
トランス-1,2-ジクロロエチレン								
シス-1,2-ジクロロエチレン								
1,2-ジクロロエタン								
【参照項目】	以下の項目は参照項目であり、記入は必須ではありません。							
1,1,1-トリクロロエタン								
ベンゼン								
1,2-ジクロロプロパン								
トリクロロエチレン								
1,4-ジクロロベンゼン								
1,1,2-トリクロロエタン								
テトラクロロエチレン								

注1) GCへの注入量 (ng)、又は測定する溶液中の濃度 (mg/L) 等を記入する。

注2) 指示値については、「検量線の最高濃度」、「空試験」ともピーク面積又は高さを記入する。

注3) 次の何れかの番号を記入する。1. フルオロベンゼン 2. 4-ブromofluorobenzene 3. その他

分析結果報告書〔8〕 19/19

<試料の指示値等> 注1) 測定対象とした項目についてのみ記入する。

項目	希釈倍率 注2)	試料の指示値									
		1回目		2回目		3回目		4回目		5回目	
		対象物質	内標準注3)	対象物質	内標準注3)	対象物質	内標準注3)	対象物質	内標準注3)	対象物質	内標準注3)
1,1-ジクロロエチレン											
ジクロロメタン											
トランス-1,2-ジクロロエチレン											
シス-1,2-ジクロロエチレン											
1,2-ジクロロエタン											
【参照項目】	以下の項目は参照項目であり、記入は必須ではありません。										
1,1,1-トリクロロエタン											
ベンゼン											
1,2-ジクロロプロパン											
トリクロロエチレン											
1,4-ジキサン											
1,1,2-トリクロロエタン											
テトラクロロエチレン											

注1) 「試料」の指示値については、「検量線の最高濃度」、「空試験」ともピーク面積又は高さを記入する。

注2) 2倍希釈した場合は「2」、希釈しない場合は希釈倍率「1」とする。

注3) 定量に用いた内標準物質の指示値を記入する。内標準法以外の方法の場合は記入しない。

<検出下限> 測定対象とした項目についてのみ記入する。

項目	検出下限 注1)	
	装置 (mg/L)	試料 (mg/L)
1,1-ジクロロエチレン		
ジクロロメタン		
トランス-1,2-ジクロロエチレン		
シス-1,2-ジクロロエチレン		
1,2-ジクロロエタン		
【参照項目】	以下の項目は参照項目であり、記入は必須ではありません。	
1,1,1-トリクロロエタン		
ベンゼン		
1,2-ジクロロプロパン		
トリクロロエチレン		
1,4-ジキサン		
1,1,2-トリクロロエタン		
テトラクロロエチレン		

注1) HS法及びP&T法以外の濃縮操作を伴う分析方法を採用した場合は、装置検出下限と試料換算検出下限値を記入する。それら以外の分析方法を採用した場合は、装置検出下限のみを記入する。

<試料の保存状況>

保存状況	保存方法等	1. 冷蔵所保存 2. 冷凍保存 3. 保存しない (直ちに分析)
	保存時間 注1)	4. その他 ()
	保存温度	約()時間
		約()℃

注1) 時間単位で記入する (例えば、60分では1時間、4日では96時間とする)。

分析実施にあたっての留意した点及び問題と感じた点	
--------------------------	--

計算式	
-----	--